

SWIM ワークショップにおける査読の手続き

2020 年 11 月 28 日

1. 査読委員長は、査読付論文としてワークショップに投稿された原稿のそれぞれについて、投稿締切日から 1 週間以内に、2 名以上の査読者を、査読者本人の了解を得た上で選定する。
2. 査読者は、原則として SWIM 専門委員から選定する。止むを得ない場合には、SWIM 専門委員外から、その投稿のテーマに関する専門家を査読者として選定できる。
3. 査読委員長と査読者が、査読委員会を構成する。
4. 査読者は、添付 1 の査読フォームに基づいて、査読結果を 2 週間以内に査読委員長に報告する。査読の基本方針は添付 2 のとおりとする。
5. 査読委員長は、1 編の投稿について「1. Overall rating」と「11. 研究専門委員会推薦論文とする。」の査読結果が著しく異なる場合には、査読者間の意見統一を 1 週間以内に図る。
6. 前項の意見統一が成功しなかった場合は、次のとおりに処理する。
 - 「1. Overall rating」すなわち採択か否かに関しては、査読委員長が判断する。
 - 「11. 研究専門委員会推薦論文とする。」に関しては、ワークショップ開始前にその投稿が研究会推薦論文候補であることを周知し、ワークショップ終了後 1 週間以内に専門委員の投票をする。この投票は査読委員長が集計し、研究専門委員会委員長に報告する。当該論文の著者は集計には含めない。
7. 査読委員長は、査読結果を投稿者に速やかに報告する。このとき、査読フォームの最終頁は投稿者に通知しない。また、査読委員長は、採択と非採択の一覧を、ワークショップ世話人に報告する。
8. 投稿者は、査読結果に基づき改善した原稿を研究会発表申込システムにアップロードする。このとき、査読者からのどの指摘に対してどのように原稿を変更したのか、あるいはしなかったのかを、理由とともに査読委員長に報告することが望ましい。研究専門委員会推薦論文とすることを希望する場合、この報告は必須とする。査読委員長はその報告を当該査読者に回送する。
9. 研究専門委員会委員長は、研究専門委員会推薦論文とするか否かの判断を最終的に下す。このとき、4~6 項の査読の経緯及び 8 項の著者からの報告を査読委員長に要求できる。

添付 1

SWIM workshop paper review form

(原稿が日本語の場合は日本語でご記入ください。原稿が英語の場合は英語でご記入ください。)

Author(s):

Paper Title:

1. Overall rating (mark one box [X])

Excellent/Outstanding (9)

(Destined to become a classic)

Strong accept (8)

(As good as the top 10% papers that I have reviewed in the past)

Accept (7)

(Comparable to good papers that I have reviewed in the past)

Weak accept (6)

(I vote acceptance, but won't argue for it)

Neutral (5)

(I am not impressed, but I won't object if others like it)

Weak reject (4)

(I don't like this paper, but I will not argue against it)

Reject (3)

(I will argue to reject this paper)

Strong reject (2)

(In the lowest 25% of the papers that I have reviewed in the past)

Unacceptable (1)

(Unsuitable for publication in this forum)

2. Relevance of this paper to SWIM (mark one box [X])

Very relevant (4)

Relevant (3)

Moderately relevant (2)

Not relevant (1)

3. Technical soundness of this paper (mark one box [X])

Correct (4)

Seems valid, but did not check completely (3)

Has minor errors (2)

Has major errors (1)

4. Originality of this paper (mark one box [X])

Very good (4)

Good (3)

Fair (2)

Poor (1)

5. Practical impact of this paper (mark one box [X])

Very good (4)

Good (3)

Fair (2)

Poor (1)

6. Presentation of this paper (mark one box [X])

Very good (4)

Good (3)

Fair (2)

Poor (1)

7. Strong points:

8. Weak points to be revised:

9. Other specific comments:

(This page will not be sent to the authors.)

10. Private comments to Review Committee if any:

11. 研究専門委員会推薦論文とする。

Overall rating が Accept 以上で、ISS の研究専門委員会推薦論文に値すると判断される場合は、「はい」に [X] をご記入ください。研究専門委員会推薦論文制度の規定はここにあります。

<http://ieice.org/iss/jpn/AboutIEICE-ISS/regulation/PDF/ISS-KensenSuisenRonbunSeido-20190904.pdf>

はい

いいえ

Referee

Name:

添付 2

査読の基本方針

論文誌と同様に、新規性 (4. Originality)、有効性 (5. Practical impact)、信頼性 (3. Technical soundness)、了解性 (6. Presentation) について査読する。

ワークショップ査読付論文は正式のジャーナル論文に至る一つ前の段階である。これを契機としてよりよい論文にして、ジャーナル投稿の水準に高めることがワークショップの目的である。従って査読はできるだけ採択を指向するとともに、具体的な改善提案をしなければならない。

「11. 研究専門委員会推薦論文とする。」の判断については、改善提案の全てが対応された原稿を論文誌に投稿した場合、少なくとも条件付き採録に相当すると査読者が考える場合、「はい」を選ぶものとする。